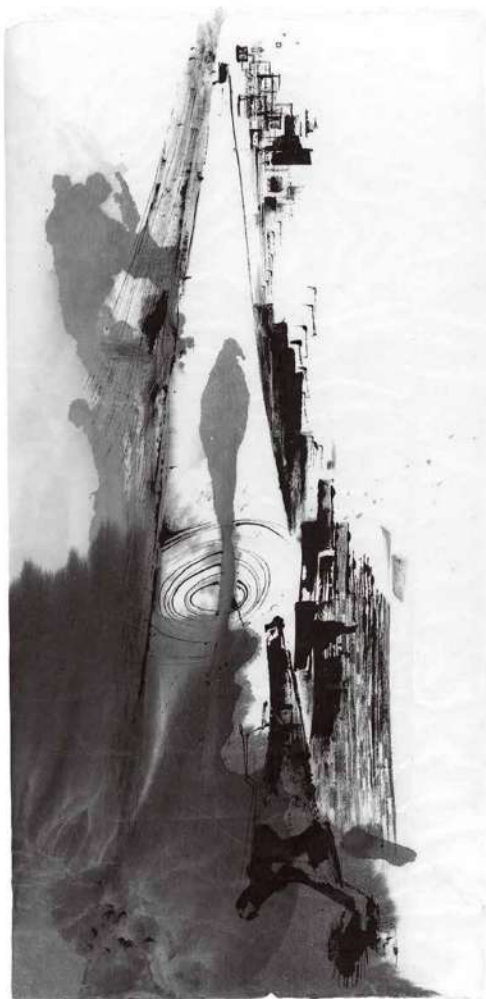


今回の出展作品に関して

第3回目の「つながるアートギャラリー」出展作品は、「書」の全く新しい魅力を、国内外で幅広く発信し続けておられる前衛書アーティスト、和田 彩さんの作品です。



【書を追求する】

私の作品は画のようなものもある。書画同源で、私の描くものは書から出発している。私の書の古典との対峙は古代の甲骨文字から近代の大家の作品まで及ぶ。それによって鍛えられる私の書の線。書の線で表現される私の形は「書」である。私は書の線で私の心から出てきた形を描いている。私は書という不可思議な東洋の美を世界に飛躍させたい。

「和田 彩」(わだ・あや)

書家 神戸市生まれ、神戸市在住 神戸大学大学院博士課程修了博士号取得
六彩舎主宰/飛雲会理事/兵庫県書作家協会理事/神戸芸術文化会議(こうべ芸文)会員

2011年、2013年神戸ビエンナーレで作品発表
2013年世界書芸全北ビエンナーレで作品発表
2017年在ポーランド日本国大使館、2019年ポーランド国立日本美術・技術博物館Manggha、国立THE ASIA AND PACIFIC MUSEUMで個展。
2019年神戸市主催の BEyond KOBE 居留地イベントで書道パフォーマンス、2020年より動画配信事業を行う。13回の個展、多数のグループ展をはじめ、国内外で幅広い活動を展開。
2018年神戸市文化奨励賞受賞
2020年神戸大学同窓会第10回紫陽会賞受賞
2021年 第68回「半どんの会」文化賞受賞



Aya Wada



先端テクノロジーである
「Projection Mapping」技術を使い
ホール内の壁に映像による空間演出

日本独自の精神世界を表現した
「石庭」を題材にして作り出した
前衛書作品約 20 点を展示

六彩舎「笑顔の力」国際交流書作展

和田彩書作展

2021年12月17日(金)～19日(日)

神戸布引ハーブ園/ロープウェイ・森のホール

10:00-16:30

17日12:00から、19日は15:00まで